

条件付き一般競争入札（事後審査方式）の公告

公告日	令和2年6月24日	
工事番号	農第8号	
工種	舗装	
工事名	林道松根城線舗装工事	
施工場所	小矢部市 内山 地内	
工事完成期限	令和2年10月 8日	
工事概要	林道舗装 L=250m、W=3.0m(4.0m) 表層工（密粒度AC13FA、t=4cm）A=750m ² 路盤工（M-40、t=14cm）A=775m ²	
予定価格	4,802,000 円(消費税及び地方消費税相当額を除く)	
低入札調査基準価格	設定有り 当該基準価格を下回る入札が行われた場合は、落札者の決定を保留し、後日、入札参加者に結果を通知する。	
入札参加資格	本店、支店又は 営業者の所在地	・小矢部市内に主たる営業所を有する者 ・準市内業者に認定された者
	等級又は総合評価 値	・平成31・令和2年度小矢部市建設工事入札参加資格者名簿の舗装工事に登録されている者
	その他	・小矢部市条件付き一般競争入札実施要領第3条
入札方法	期間入札	
入札書の提出方法	持参又は郵送	
入札書の提出期間	令和2年6月29日 から 令和2年7月6日 まで 持参の場合の受付時間は市役所開庁日の8時30分～17時15分 郵送の場合は、期日内に指定郵便局必着	
入札書の提出先	総務部財政課	
開札日時	令和2年7月8日 9時45分	
開札場所	小矢部市役所 講堂（4階）	
入札保証金	免除	
契約保証金	納付必要（請負代金額が500万円以上の場合）	
積算内訳書	要（入札時に、入札書と同封して提出）	
入札の無効	小矢部市期間入札実施要領第7条による	
設計図書の配布	小矢部市ホームページ「事業者向け」―「入札案内・資格申請」に掲載する設計図書を、ダウンロードにより取得する。	
設計図書に対する質問期間	令和2年7月1日	
質問に対する回答期限	令和2年7月3日	

工 種	森林管理道	工 事 番 号	農 第 8 号	設計年月日	令和2年6月
工 事 箇 所	小矢部市 内山 地内				
令和 2 年度					
林道松根城線舗装工事					
小 矢 部 市					
請 負 金 額		工 期	令和2年 7月 9日	令和2年 10月 8日	

< 理由 >

< 概要 >

林道舗装

W=3.0m (4.0m) L=250m

表層工 (密粒度AC13FA・t=4cm) A=750m²

路盤工 (M-40・t=14cm) A=775m²

特記仕様書

工事名：林道松根城線舗装工事

第1章 総則

この特記仕様書は、令和2年度に小矢部市が施工する林道松根城線舗装工事に適用するものとする。施工に当たっては、工事目的を十分に把握し、この特記仕様書と関係諸法規を遵守し、目的を達成するものとする。

第2章 一般関係

第1条 安全教育・訓練の実施

1. 労働安全衛生法等に基づき日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、「安全教育・訓練等の実施要領」により毎月1回(半日)以上の頻度で実施するものとする。
2. 実施項目について「土木工事共通仕様書」第1-1-5条施工計画書の記載事項として「(10)安全管理」に含め、「安全教育・訓練の実施要領」の様式-1により工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督職員に提出するものとする。
3. 安全・訓練等の実施については、「安全教育・訓練等の実施要領」の様式-2により安全教育・訓練等の実施毎に記録写真等を撮影し、監督員及び検査員の請求があった場合は直ちに提示しなければならない。

第2条 工事実施前の措置及び事前事後調査

1. 請負者は、工事に先立ち、掘削位置、工法、交通安全、設備等について関係官公署の監督員と現地立会いを行い、許可条件、指示事項を確認すること。
2. 既存構造物に接近するとき、又は、撤去する場合には、関係者立会のうえ、現況に写真撮影、測量等の記録をした後、工事施工を行う。
3. 請負者は、あらかじめ沿道(周辺も含む)家屋等について事前調査を行い、善良な管理義務を怠ったことにより、家屋等物件に被害が認められた場合は、請負者が責任を持って処理するものとする。

第3条 測量

1. 請負者は、契約後指定の基準点に基づきすみやかに必要な測量を行うこと。
2. 仮B.Mは、位置高さの変動のないよう、適切な保護をすること。
3. 構造物が設計図書どおり築造できない場合や、設計図書等に記載のないものについては、監督員と協議すること。

第4条 地場産品の優先使用

本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地産品を優先使用するものとする。

第5条 工事材料の検査

主要材料については、監督員の段階確認を受けて使用するものとする。

第6条 アスファルト混合物

1. 請負者は、本工事のアスファルト混合物は再生材入りアスファルト混合物を使用するものとする。
2. 請負者は、上記により難いときは監督員と協議して再生材の混入しないアスファルト混合物（バージン材）を使用してもよい。

第7条 コンクリート配合

使用目的別の配合緒元は次表のとおりとする。

番号	呼び強度 (N/mm ²)	スラブ [°] (cm)	粗骨材の 最大寸法(mm)	W/C (%)	C (kg/mm ³)	セメントの種類	使用目的
1	18	8	40	60以下	—	BB	

高炉セメントを使用したコンクリートは初期養生に留意する。

第8条 コンクリートの水セメント比

コンクリートの水セメント比は第7条コンクリート配合を遵守すること。指定した呼び強度に対して、セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

第9条 下請け関係の適正化

本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項（共通仕様書）」を遵守すること。

第10条 産業廃棄物の適正処分

本工事から発生する産業廃棄物の処分は、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理しなければならない。

第3章 公害対策・環境対策関係

第11条 公害防止

土砂の搬出等による公道等の路面汚損防止のため、路面が汚れた場合は、直ちに路面清掃を行うものとする。

第12条 施工機械

1. 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき国土交通省で指定された建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。

機種	備考
バックホウ トラクタショベル（車輪式） ブルドーザ 発動発電機（可搬式） 空気圧縮機（可搬式） 油圧ユニット類 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの。 ：油圧ハンマ・バイブロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・油圧式杭圧入引抜機・アースオーガ・オールケーシング掘削機・リバーササーキュレーションドリル・アースドリル・地下連続壁施工機・全回転型オールケーシング掘削機 ローラ類 〔ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ〕 ラフテレーンクレーン	ディーゼルエンジン (エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載した建設機械を対象とする。

2. 排出ガス対策型建設機械を使用する場合は、施行計画書の中で、(1)機種、(2)メーカー名、(3)型式、(4)台数等を記載するものとする。また、「指定ラベル」が確認できる工事写真を提出するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械をやむを得ず使用できない場合は、設計変更の対象とする。ただし、機械損料に差額のない機種についてはこの限りでない。

第4章 安全対策関係

第13条 事故報告及び応急措置

1. 請負者は、工事中事故があったときは、直ち所定の措置を講ずるとともに、監督員に通報し、事故発生の原因、経過、事故による被害内容及び今後の対策を講じた事故報告書を提出すること。

2. 請負者は、施工管理上の落ち度により第三者にあたえた被害について、請負者の負担により、措置を講ずるとともに、その内容を監督員に報告すること。

第14条 安全管理

1. 工事の施工にあたっては、必要に応じて交通整理員を配置し一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施行するものとする。
2. 請負者は、工事期間中、安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。
3. 請負者は、機械器具、不要土砂等を交通及び保安上の障害とならないように使用のつど整備し、又は、現場外へ搬出し、工事現場内は常に整頓しておくこと。

第5章 建設発生土・建設副産物関係

第15条 建設発生土

本工事で発生する建設発生土については、発注者が指定した場所へ搬入すること。

種 別	処 分 地
残 土	小矢部市 内山 地内

第16条 建設副産物（建設リサイクル法の対象外の工事）

本工事から発生するアスファルト及びコンクリート塊については、小矢部市五郎丸地内の再資源化施設で処理するものとする。

積算上の明示条件であり、再資源化施設を指定するものではない。なお、請負者の明示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、施設の受入れが困難な場合等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

請負者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト等）を保管しておくこと。監督員からの請求があれば速やかにその写しを提示するものとする。運搬、処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を監督員に提示するものとする。

第17条 再生材の利用

次表の基礎砕石には再生砕石を使用するものとする。品質については、下表の資材は、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別暫定品質基準（案）」に基づくものとする。なお、再生砕石の入手が困難な場合は、監督員と協議のうえ砕石（新材）に変更できるものとする。

工 種	品 種	使用箇所
舗装工	M-40	路盤

路盤材は修正 CBR は 30%以上とする。

第6章 工事支障物件

第18条 工事中支障物件

工事中障害物件が発見された場合、監督員に報告し、管理者と監督者と三者で協議し、移設、切回し、又は、防護を行うこと。

監督員に報告しないで、障害物件を処理したときに生じた損害については請負者の負担によって処理すること。

第7章 仮設工

第19条 仮設一般

1. 工事中仮設物は、あらかじめ施工計画書に示し、請負者の責任において、構造物の種類現場の状況に応じて、適切なものを設けること。
2. 指定仮設を変更しようとする時は、その理由を明記して、変更承認願いを提出するものとする。承認願いを提出せずに、施工した場合、監督員は、その施工の中止又はやり直しを命ずることができる。
3. 任意仮設は、変更設計の対象としない。

第20条 仮施設

仮施設に要する敷地の借受、その他使用上必要な諸手続きは、すべて監督員と協議の上行うこと。

第21条 防護柵

立坑周囲及び地上施設物の出入口以外には、防護柵を設置するとともに、保安灯、夜間照明設備を完備し、必要あれば保安要員を配置して、作業員のみならず、第三者に対する事故防止に努めなければならない。

提出書類について（補足事項）

○工事着手届

- ・ 施工計画書に添付する施工計画書の概要を示すこと。現場代理人・主任技術者の資格証明の写しを添付すること。

○通行制限

- ・ 市道においては請負者自ら小矢部市建設課へ申請のこと。
- ・ 国・県道においては小矢部市農林課からの申請となるので、位置図、安全施設（看板）配置図、交通規制図、安全対策を1部提出のこと。
（交通規制図は、各々の現場と整合したものとし、バリケード、交通誘導員、工外用信号機、停止看板、保安等、チューブライトを明記すること。）

○工事材料使用願

- ・ 製品ごとの日付は記入のこと

○施工計画書

- ・ 記入項目は共通仕様書 1-1-5 条を参照。
- ・ 監督員と打合せの上、段階確認計画を記入のこと。
舗装コアの確認は段階確認で行い、直ちに埋めること。
- ・ 施工計画書の記載内容に重要な変更が生じた場合はその都度該当工事に着手する前に変更施工計画書を提出のこと。
- ・ 請負代金 200 万円未満の場合は施工計画書は提出不要。ただし監督員から請求があった場合は速やかに提示のこと。

○退職金制度加入の証明書または建退共掛金収納届出書

○廃棄物の運搬処分委託契約書の写し

○打合せ簿（その都度）

- ・ 設計図面と異なる場合の協議は、平面・縦断図・横断図に赤書きし、その他写真・資料等を添付してわかりやすくすること。

○完成時の提出書類

- ・ 平成 18 年 3 月 22 日付小検第 12 号「工事請負完成検査及び業務委託完了検査の必要書類について」を参照
- ・ 品質管理（アスファルト舗装敷均し時の温度管理抜けていることが多い）
- ・ 低騒音排気ガス対策機械の使用がわかる写真
- ・ 安全施設・交通整理員配置がわかる写真
- ・ 整理、整頓がわかる写真
- ・ 工事完成届
- ・ 工事引渡書
- ・ 請負代金請求書

※一部を除きすべて A 4 サイズとする。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	0003 農 林 課 全体設計書 当初 0		
適用単価 適用単価地区 単価適用年月日	1 実施単価 27 砺波地区 0-02.05.15(0)		
諸経費体系	3 林務公		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 電力区分(1) 電力区分(2) 豪雪地域補正 冬期労務補正 週休2日工事区分 施工地域区分 契約保証区分 現場環境改善費区分 消費税率(%)	40 25 舗装 01 臨時低圧電力 10 他季1 01 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 12 補正無し 03 補正なし 10 計上しない 10		

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
林道開設・改良						Y1J03
林道土工						Y2J0301
掘削工						Y3J030101
	バックホウ掘削積込み（土砂）					S6231 0 A=1, B=1, C=2, D=2, E=1
盛土工		140	m ³			施工 第0-0001号表 Y3J030102
盛土（発生土）						Y4J03010202
路肩盛土						V00001 0
残土処理工		500	m			施工 第0-0003号表 Y3J030105

本工事費内訳表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ダンプトラック運搬 ダンプトラック 4t 粘性土、砂、砂質土、礫質土	169		m ³						S5116 0 A=2, B=1, D=1.9, E=2, F=3, G=2 施工 第0-0009号表	
残土処理工 ブルドーザ 普通32t級 排対型 砂・砂質土 ルーズ	169		m ³						S6229 0 A=3, B=2, C=20 施工 第0-0011号表	
舗装工									Y2J0310	
上層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚140mm 粒度調整砕石 M-40	775		m ²						SP4004 0 A=2, D=140, E=1, G=1 施工 第0-0013号表	
表層（車道・路肩部）[密粒度(13FA)再生] 平均仕上げ厚40mm 1.4m以上3.0m以下	750		m ²						SP4007 0 A=3, B=40, C=2, D=2, E=1 施工 第0-0014号表	
側溝工									Y31030702	
側溝清掃	446		m						V00002 0 施工 第0-0015号表	
直接工事費										
共通仮設費(積上げ分)										

小 矢 部

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費 (率分)			式			
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費			式			
工事原価						
一般管理費等			式			
工事価格						
消費税・地方 消費税相当額			式			
請負対象工事費						

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格計						
消費税・地方消費税相当額			式			
請負対象工事費計						

施工内訳表

[名称] バックホウ運転 (供用日)		[規格1] クローラ型 山積0.8 m3 超低騒音型		[規格2] 排対型 (第3次基準値)		1	日	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
特殊運転手		人			R0010			
軽油 1・2号		L			T5106			
バックホウ(クローラ型)標準型・超低騒音型 山積0.8m3 (平積0.6m3) 排出ガス対策型 (第3次基準値)		供用日			MHS165			
単位当り	1	日						
A=1 労務数量 C=1.41 機械損料数量 E=3 排対型 (第3次基準値)			B=100 燃料消費量 D=15 クローラ型 山積0.8 m3 超低騒音型					

施工内訳表

[名称] 路肩盛土 [規格1]		[規格2]				10	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
埋戻工 D W1<1m	0.21	m ³			S6222 A=1	施工 第0-0004号表		
人力による築立（土羽）整形 砂及び砂質土 粘性土	0.74	m ²			S5004 A=0	施工 第0-0007号表		
合計	10	m						
単位当り	1	m						

施工内訳表

[名称] 埋戻工 [規格1] D W1<1m		[規格2]				100	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
普通作業員		人			R0002			
タンパ締固め	100.00	m3			S6224	施工 第0-0005号表		
合計	100	m3						
単位当り	1	m3						
A=1 D W1<1m								

施工内訳表

[名称] タンパ締固め		[規格1]		[規格2]		100	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
普通作業員		人			R0002 補助労務			
タンパ運転経費（賃料） 60～80kg		日			S5950 A=1, B=1, C=4.5, D=1.38	施工	第0-0006号表	
合計	100	m3						
単位当り	1	m3						

施工内訳表

[名称] タンパ運転経費 (賃料)		[規格1] 60~80kg		[規格2]		1	日	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
特殊作業員		人			R0001			
ガソリン レギュラー		L			T5101			
タンパ		供用日			TVH50			
単位当り	1	日						
A=1 C=4.5	60~80kg 燃料消費量		B=1 D=1.38	運転労務数量 機械賃料数量				

施工内訳表

[名称] 人力による築立(土羽)整形 [規格1] 砂及び砂質土 粘性土		[規格2]		100	m ²	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
土木一般世話役		人			R0047	
普通作業員		人			R0002	
タンパ運転経費 タンパ 60~80kg		日			S5959	施工 第0-0008号表
					A=1, B=0, C=5	
合計	100	m ²				
単位当り	1	m ²				
A=0 歩掛補正						

施工内訳表

[名称] タンパ運転経費						1	日	当り
[規格1] タンパ 60~80kg		[規格2]						
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
タンパ及びランマ 質量 60~80kg		日			M1750			
特殊作業員		人			R0001			
ガソリン レギュラー		L			T5101			
単位当り	1	日						
A=1 C=5	タンパ 60~80kg 運転時間 (時間/日)		B=0	ガソリン消費量 (L/日)				

施工内訳表

[名称] ダンプトラック運搬				1		m3 当り	
[規格1] ダンプトラック 4t				[規格2] 粘性土、砂、砂質土、礫質土			
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考		
ダンプトラック運転経費 ダンプトラック 4t		時間			S5910	施工 第0-0010号表	
m3当り単価		m3			A=2, B=3, C=2 +00		
単位当り	1	m3					
A=2 D=1.9 F=3 H=0	ダンプトラック 4t 運搬距離 (km) 補正係数 β 4.8 修正サイクルタイム			B=1 E=2 G=2	粘性土、砂、砂質土、礫質土 タイヤ損耗区分 普通 積込機種バッホウ山積0.45m3		

施工内訳表

[名称] ダンプトラック運転経費		[規格1] ダンプトラック 4t		[規格2]		1	時間	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
ダンプトラック (オンロード・ディーゼル) 4t 積級		時間			M0302			
タイヤ損耗費		時間			M9990			
一般運転手		人			R0011			
軽油 1・2号		L			T5106			
単位当り	1	時間						
A=2 C=2	ダンプトラック 4t 損耗区分普通		B=3	岩石補正 0%				

施工内訳表

[名称] ブルドーザ運転経費 普通32 t級 33~37 t		[規格1] 排対型		[規格2]		1	時間	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
ブルドーザ (普通) 32 t級 33~37 t 排出ガス対策型 (第1次基準値)		時間			MH009			
特殊運転手		人			R0010			
軽油 1・2号		L			T5106			
単位当り	1	時間						
A=7 ブルドーザ 普通32 t級 33~37 t			B=3 岩石補正	0%				

施工内訳表

SP4004

施工 第0-0013号表

頁0-0018

[名称] 上層路盤 (車道・路肩部)		1	m ²	当り	
[規格1] 全仕上り厚140mm		[規格2] 粒度調整碎石 M-40			
機械構成比: 10.59%		労務構成比: 29.59%		材料構成比: 59.82%	
		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 533.81	
代表機 労材規格	構成比	単 価	代表機 労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排出ガス対策型 (第2次基準値)	4.28%		モータグレーダ		MHH601
ロードローラ (マカダム) 運転質量10t 締固め幅2.1m 排出ガス対策型 (第2次基準値)	3.32%		マカダムローラ		MHH705
タイヤローラ賃料	1.08%		タイヤローラ 東京単価 質量8~20t		TVH22
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	13.58%		運転手 (特殊) 東京単価		R0010
特殊作業員	4.78%		特殊作業員 東京単価		R0001
普通作業員	4.54%		普通作業員 東京単価		R0002
土木一般世話役	1.36%		土木一般世話役 東京単価		R0047
その他(労務)			その他(労務)		ER009
粒度調整碎石 (M-40)	57.14%		再生粒度調整碎石 東京単価、(平均仕上り厚 150mm) RM-40		T7116
軽油 1・2号	2.20%		軽油 東京単価 1・2号 パトロール給油		T5106

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP4004

施工 第0-0013号表

頁0-0019

[名称] 上層路盤 (車道・路肩部)			1 m ² 当り		
[規格1] 全仕上り厚140mm			[規格2] 粒度調整碎石 M-40		
機械構成比: 10.59%		労務構成比: 29.59%		材料構成比: 59.82%	
				市場単価構成比: 0.00%	
				標準単価: 533.81	
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	
その他(材料)				その他(材料)	
積算単価				積算単価	
A=2	粒度調整碎石	M-40		D=140	全仕上り厚 (mm)
E=1	1層施工			G=1	割り増しなし

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0014号表

頁0-0020

[名称] 表層(車道・路肩部) [密粒度(13FA)再生]		1	m ²	当り	
[規格1] 平均仕上げ厚40mm		[規格2] 1.4m以上3.0m以下			
機械構成比: 1.80%	労務構成比: 13.37%	材料構成比: 84.83%	市場単価構成比: 0.00%	標準単価: 1,634	
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルトフィニッシュ賃料 [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m	1.20%		アスファルトフィニッシュ 東京単価 [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		TVH53
振動ローラ賃料	0.25%		振動ローラ(舗装用) 東京単価 [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t		TVH42
タイヤローラ賃料	0.22%		タイヤローラ 東京単価 質量3~4t		TVH20
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.75%		普通作業員 東京単価		R0002
特殊作業員	3.27%		特殊作業員 東京単価		R0001
特殊運転手	3.22%		運転手(特殊) 東京単価		R0010
土木一般世話役	1.14%		土木一般世話役 東京単価		R0047
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト合材 再生材入り 密粒度アスコン(13FA)	77.78%		アスファルト混合物 東京単価(平均仕上り厚 50mm) 密粒度AS混合物(20)		T7162
アスファルト乳剤 PK-3	6.82%		アスファルト乳剤 東京単価 PK-3 プライムコート用		T4872

小 矢 部

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0014号表

頁0-0021

[名称] 表層(車道・路肩部) [密粒度(13FA)再生]		1	m ²	当り
[規格1] 平均仕上げ厚40mm		[規格2] 1.4m以上3.0m以下		
機械構成比: 1.80%		労務構成比: 13.37%		材料構成比: 84.83%
		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 1,634
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)
				単価(東京地区)
				備考
軽油 1・2号	0.22%		軽油 東京単価 1・2号 パトロール給油	T5106
その他(材料)			その他(材料)	EZ009
積算単価			積算単価	EP001
A=3 C=2 E=1	1.4m以上3.0m以下 密粒度アスコン(13FA) 再生材入り 割り増しなし		B=40 D=2	1層当り平均仕上り厚(mm) プライムコート PK-3

施工内訳表

[名称] 側溝清掃 [規格1]		[規格2]		1	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
普通作業員		人			R0002	
単位当り	1	m				

機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M0302	177			時間	ダンプトラック	運搬機械損料
2	M1750	182			日	タンパ	締固め機械損料
3	M9990	198			時間	損耗費 (タイヤ)	機械損耗費
4	MH009	175			時間	ブルドーザ	ブル等損料
5	MHS165	176			供用日	バックホウ	掘削積込機損料
6	R0001	150			人	特殊作業員	公共工事設計労務単価
7	R0002	150			人	普通作業員	公共工事設計労務単価
8	R0010	150			人	特殊運転手	公共工事設計労務単価
9	R0011	150			人	一般運転手	公共工事設計労務単価
10	R0047	150			人	世話役	公共工事設計労務単価
11	T5101	132			L	ガソリン	ガソリン
12	T5106	133			L	軽油	軽油
13	TVH50	199			供用日	タンパ賃料	リース料

林道松根城線舗装工事

○工事内訳

舗装延長 L=250m 幅員 W=3.0m (4.0m)

○工事数量

土 工			
機械掘削		140	m ³
	$3.1 \times 250.0m \times 0.18m = 139.5$		
残土処理		169	m ³
	現場内処理 (掘削-路肩盛土+側溝)		
	$139.5 - 10.5 + 40.14 = 169.14$		
路肩盛土工		500	m
	$250.0m \times 2 = 500.0$		
(10m当たり算定)			
盛 土 材		0.210	m ³
盛 土 同 上		0.210	m ³
盛土法面整形		0.74	m ²
舗 装 工			
路 盤 工		775	m ²
	$3.1 \times 250.0m = 775$		
表 層 工		750	m ²
	$3.0 \times 250.0m = 750$		
側溝清掃 (舗装済箇所及び横断側溝分)		446	m
	$440.0m + 6 = 446.0$		

R2 松根城線舗装工事位置

金沢市

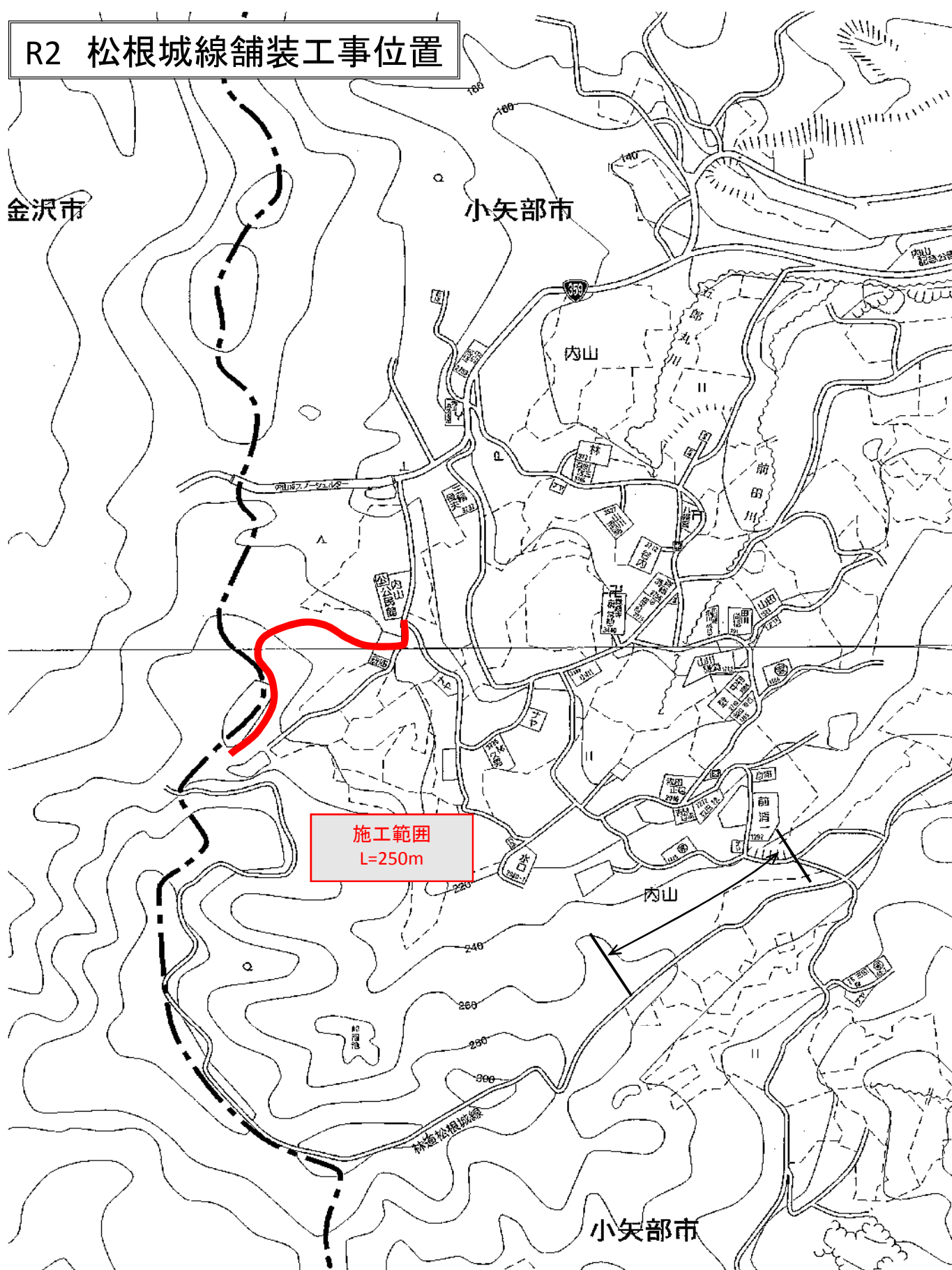
小矢部市

内山

施工範囲
L=250m

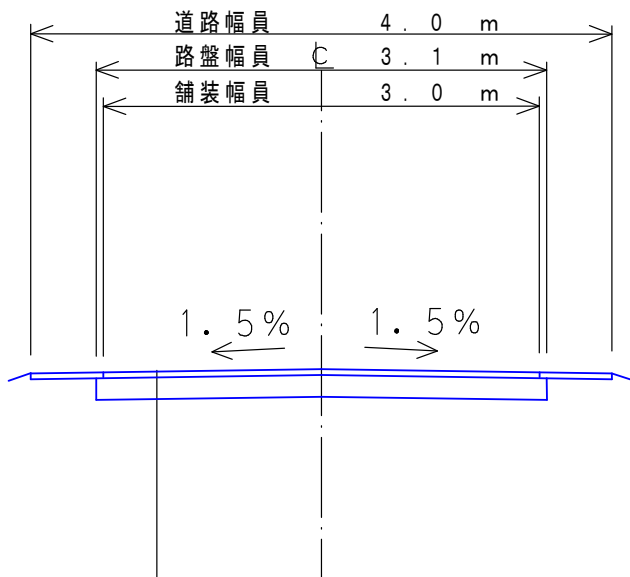
内山

小矢部市



標準断面図

縮尺 1/50



表層工	密粒度 AC13FA	t = 4 cm
路盤工	粒度調整碎石 M-40	t = 14 cm

路肩構造

縮尺 1/10

